

健康的な肌の見栄えのための口紅色の研究

160441108 辻 菜月
川澄研究室

1. はじめに

肌の色や口紅，ネイルの色は人の健康的な印象に大きな影響を与える[1][2]。特に口紅は，若年層から高齢者まで広い年代層の女性の第一印象をより明るく健康的に変化させることができるため，化粧ツールとして人気が高く，市場が拡大している。しかし，肌の色は民族や年代によって異なるため，肌の色に応じて適した口紅色を調べることは有用である。本研究ではタイ人と日本人の肌色に注目し，健康的な肌色に見せる口紅色を調査する。本稿では日本人女性を対象に実施した結果をまとめる。

2. 実験方法

タイ人と日本人の肌の系統色の調査に基づき，タイ人 2 系統色 (White 系, Tan 系)，日本人 2 系統色 (Reddish 系, Yellowish 系)，計 4 系統色 (表 1) を実験対象にすることにした。口紅色は現行製品 (Revlon) の色彩を参考に，JIS 標準色票 (マンセル表色系) から，色相 3 水準 (10RP, 5R, 10R)，彩度 2 水準 (8, 14) の計 6 色 (表 2) を選んだ。明度は 5 で統一した。また，肌色と口紅色を組合せた顔のグラフィックを Adobe Photoshop で作成した (図 1)。被験者は，ディスプレイ表示された実験刺激に対し，肌色の見えについて「明るい」「暗い」「健康な」「不健康な」を最も感じる口紅色を 1 つずつ回答した (多肢選択法)。試行は各 1 回，被験者は日本人女性 33 名 (10 代～50 代) で，所要時間は約 20 分であった。

3. 実験結果

図 2 は「健康的な」に対する結果で，円が大きいほど選択率が高いことを示す。1)～4) は被験者全体 (N=33)，5)～8) は 10 代の被験者 (N=13) の結果である。全肌色で効

表 1 実験で用いた肌色 (4 色)

White 系	Tan 系	Reddish 系	Yellowish 系

表 2 実験で用いた口紅色 (6 色)

彩度 \ 色相	色相		
	10RP	5R	10R
14	No.1 	No.2 	No.3
	No.4 	No.5 	No.6
8	No.4 	No.5 	No.6
	No.4 	No.5 	No.6

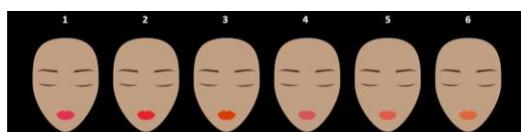


図 1 実験刺激 (肌色 White 系の例)

果が高いのは No. 3 (10R 5/14)，続いて No. 1 (10RP 5/14) であった。また，Yellowish 系では No. 5 (5R 5/8) も高く，他の 3 つの肌色とは異なっている。なお 10 代は他の年代とは異なる結果を示した。

4. まとめと今後

健康的な肌の印象を実現する口紅色について，タイ・日本の 4 つの肌系統色を対象に調査したところ，肌色と口紅色の組合せにより効果が異なり，肌色ごとの推奨色が明らかになった。今後は高齢者向けのリハビリテーションメイクなどにも貢献したい。また，ヘアカラーやネイルなどの色の効果についても検討していきたい。

謝辞

課題提起，研究討議，実験を共に協力して行なった Rajamangala University of Technology Thanyaburi (タイ) の大学 4 年生 Kanokwan Somdang 様に感謝いたします。

参考文献

- [1] Ian D. Stephen & Miriam J. Law Smith & Michael R. Stirrat & David I. Perrett : Facial Skin Coloration Affects Perceived Health of Human Faces, International Journal of Primatology, Volume 30, Issue 6, pp 845-857(2019)
- [2] 中島由貴：顔の肌色印象に対するスカーフ色の影響, 日本色彩学会誌, 第 42 巻, 3 号, p.201-203 (2018)

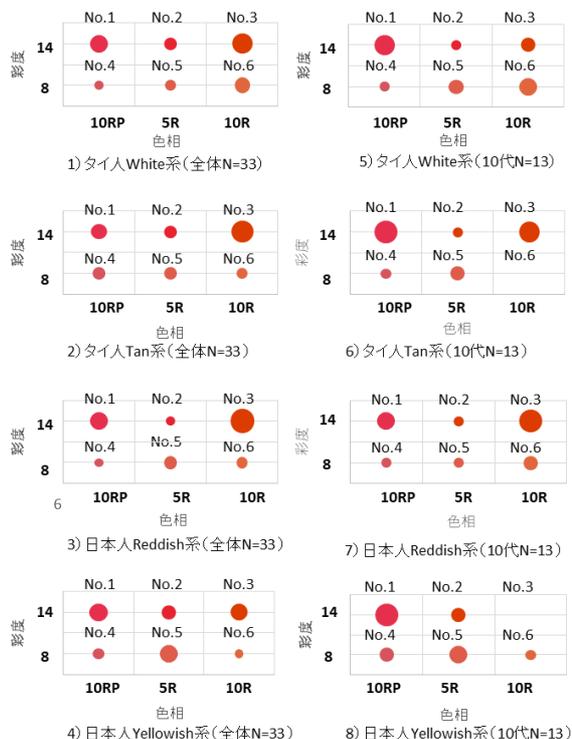


図 2 健康に見える口紅色